

ファジアーノ岡山 キャンプイン

サッカー J2リーグで活躍するファジアーノ岡山が1月20日から26日までの7日間、赤間総合運動公園でキャンプを行いました。

キャンプ初日の歓迎セレモニーでは記念品贈呈が行われ、有馬賢二監督は「皆さまのご支援を力に変え、今シーズンのJ1昇格という目標に向けて精いっぱい戦っていきます」とあいさつしました。



また、1月23日には恩納小学校を訪問し、児童たちと交流しました。県出身の赤嶺真吾選手と上門知樹選手、徳元悠平選手をはじめ有馬賢二監督、コーチら20人とドリブルリレーなどを楽しみました。選手たちがリフティングやシュートを披露すると児童たちからは歓声が上がりました。

赤嶺選手は「小さい頃、プロの選手を見てサッカーを始めた。今日が皆さんにとってそんな機会になってほしい」と話しました。

三星ライオンズ歓迎セレモニー



2月5日、赤間多目的運動場で韓国プロ野球球団サムスンライオンズの歓迎セレモニーが行われました。

セレモニーでは花束や記念品贈呈を行い、ホ・サムヨン監督は「キャンプに協力していただきありがとうございます。皆様のご声援に応えられるよう頑張ります」とあいさつしました。キャンプ期間は2月1日から3月5日まで。

高齢者に手作りおせち料理

手作りのおせち料理を楽しんでもらおうと、村商工会女性部（當山美津部長）が旧暦の大みそかに当たる1月24日、婦人の家でおせち料理を作りました。

料理は、村内で一人暮らしの85歳以上の高齢者144人に宅配されました。女性部のボランティア活動の一環として行われているこの活動は、今年で28回目。料理のお重には當山部長が詠んだ琉歌「子ぬ年ゆ迎えて心若わかと がんじゅうゆ願て作る嬉さ」と書かれたのし紙が添えられました。

おんなの駅「なかゆくい市場」から提供された食材を使って、田芋でんがくやクーブイリチーなど17品を作り、おせち料理を完成させました。商工会職員や民生委員、自治会の協力のもと、地域が一体となり取り組まれました。

